

桃山学院大学紀要

総目次

第1巻 第1号～第3巻 第2号

第1巻 第1号 (1962年)

- 英語における若干の agent-suffix——
ことに古代英語の -estre について……………山崎謹一郎 (1)
音声の発達と英語教育……………志村 精一 (17)
アメリカ文学における Puritanism の思想史的意義……………沖浦 和光 (43)
Oscar Wilde の Style に関する一考察……………大谷 泰照 (87)

第1巻 第2号 (1963年)

- 源氏物語の構想上から見た作意について
——若菜の巻～幻の巻——……………鷺見 寿久 (1)
宮崎滔天のアジア主義……………山口 光朔 (59)
労働科学ノート
——生活相と疲労質の変化に伴う労働体育への志向——…三辺 光夫 (120)

第2巻 第1号 (1963年)

- The State in Ecumenical Thought…………… J. Takashi Yashiro (1)
アメリカ国民文化の形成とヨーロッパ啓蒙主義……………沖浦 和光 (23)
Walter Lippmann 研究のための序論的覚え書き
——アメリカ現代自由主義思想への一視角として——…木村 勝造 (51)
Pearl Buck の文体の一面……………大谷 泰照 (84)
T. S. エリオットの芸術観
——Pattern の意味をめぐって——……………広岡 実 (96)

第2巻 第2号 (1964年)

- Aesthetic Poverty in a Land of Plenty……………Lloyd R. Craighill, Jr. (1)
Pearl Buck の手法 ——*The Good Earth* の場合—— ……大谷 泰照 (8)
T. S. Eliot の詩における死と再生の主題……………広岡 実 (37)
Ælfric's Colloquy に於ける語順の一研究……………椿 昇 (125)

第3巻 第1号 (1965年)

- The Family Reunion の主題の2面的構造……………広岡 実 (1)
Sermo Lupi に於ける語順の一研究……………椿 昇 (40)
John Donne の脚韻と当時の発音……………垣田 章 (83)
ドイツ語の前置詞 um について——「喪失」の意味
における用法の解釈を中心として——……………山内 貞男 (101)

第3巻 第2号 (1966年)

- T. S. Eliot の詩における視点と実在
——'eye' symbol をめぐって——……………広岡 実 (1)
アメリカ自然主義文学思想の一面 (1)
——Frank Norris の文学理論に関連して—— ……木村 勝造 (17)
近代文学における Realism 理論の成立……………沖浦 和光 (51)
応答の副詞——Ja と Nein ——の論理
——日本語における「はい」、「いいえ」と対照して——…山内 貞男 (87)

(注) 第4巻 第1号より「桃山学院大学人文科学研究」と改題